# 一小だより

武蔵野市立第一小学校
平成２９年度　１月号
No.２９-０９(４１９)
http://www.musashino-city.ed.jp/~gakkou001/


## 新年を迎えて

校長　新井　保志

あけましておめでとうございます
今年一年が、子供たちにとって、そして保護者や地域の皆様にとって、明るく健康で幸せにあふれた毎日になりますよう、お祈り申し上げます。
さて、２学期末に実施しました学校評価（保護者アンケート）ですが、回収率が９７．０％と多くの方にご協力いただきました。ありがとうございました。全ての集計結果及び考察については、後日お伝えさせていただきます。ここでは「設問⑥：学校は、子供たちの自尊感情を育てていますか。」の回答結果について速報としてお知らせいたします。

| 設問⑥：学校は、子供たちの自尊感情を育てていますか。 | | | |
|---|---|---|---|
| A:とてもそう思う<br>十分達成している | B:そう思う<br>概ね達成している | C:あまり思わない<br>やや不十分 | D:そう思わない<br>不十分 |
| ３１％ | ６３％ | ５％ | １％ |

実に９４％の保護者の方が、「自尊感情を育てている」と肯定的に評価してくださっていることがわかります。「学校経営計画書（※一小HP参照）」でお示ししている通り、本校では、目指す児童像として**「自分だいすきな子」**を掲げ、教育活動の中で、子供たちの小さながんばりや成長を認め励まし伝えていくことを通して、自尊感情を高め、自己肯定感を育てたいと考えています。依然として、肯定的な回答が得られていない部分もありますが、これからも自尊感情を育てるために学校として努力や工夫を重ねていきたいと考えています。

ところで、昨年３月末に新学習指導要領が告示され、平成３２年度の本格実施へ向け、平成３０年度はとても重要な年となります。具体的には全ての学年で教科書を使用した「道徳科」の学習が始まります。また、外国語教育については、３、４年生で外国語活動を１５単位時間、５、６年生の外国語活動では、外国語科（英語）の一部内容を加え、５０単位時間を実施することとなります。新しいことも始まりますが、学校評価（保護者アンケート）の結果も踏まえ、子供たちにとって本当に何が重要であるのかを考えながら、新しい教育課程の実施を視野に置き、平成３０年度の教育課程を編成していきたいと考えています。
保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、今年も「**子供たちの笑顔のために**」、本校の教育活動に対し、ご理解ご協力ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

◇今月の行事予定

| | |
|---|---|
| ７日（日）冬季休業日終<br>８日（月）成人の日<br>９日（火）始業式　特別時程　新年子ども会<br>１０日（水）給食開始　安全指導<br>１１日（木）委員会活動　計測（６年）<br>１２日（金）クラブ活動　計測（５年）<br>１５日（月）計測（４年）<br>１６日（火）計測（３年）<br>校内書き初め展（３０日迄） | １７日（水）４校時授業（２の１と４の１を除く）<br>研究授業（５校時、２の１、４の１）<br>計測（２年）　保健指導日<br>１８日（木）社会科見学（６年）　計測（１年）<br>２３日（火）新１年生との交流会（１年）<br>２７日（土）学校公開　特別時程（３校時授業）<br>市書き初め展（２９日迄）<br>３１日（水）教育相談日 |

## お互いを大切にする言葉づかいをしよう」

生活指導委員会

ひとつのことばでけんかして　ひとつのことばでなかなおり
ひとつのことばで頭が下がり　ひとつの言葉で心が痛む
ひとつのことばで楽しく笑い　ひとつのことばで泣かされる
ひとつのことばはそれぞれに　ひとつの心を持っている
きれいなことばはきれいな心　やさしいことばはやさしい心
ひとつのことばを大切に　ひとつのことばを美しく　「ひとつのことば」　北原白秋

私たちの生活の中には様々な場面で、様々な言葉が飛び交っています。感情的になり、つい言ってしまった言葉がきっかけで、けんかをしたり誤解を生んだりすることもあります。反対に、相手を励ましたり勇気づけたりすることもあります。言葉には、色や形はありませんが、一度人の口から出てくると、不思議と冷たさを感じさせたり、温かみを感じさせたりします。

北原白秋の詩は、美しい言葉を遣うことの大切さをうたっているだけではなく、相手を思いやる心の大切さも教えていると思います。

「武一小みんなのきまりとやくそく」の中に、「友達は『さん』や『くん』を付けて呼ぶ」ということが書いてあります。なぜ、このようなやくそくが書かれているのでしょうか。私は、丁寧な呼び方をした後には、丁寧な言葉が続くと思います。逆に、乱暴な呼び方の後には、乱暴な言葉が続くことが多くあるのではないでしょうか。まずは、友達の呼び方を意識してみませんか。そして、温かみのあるやさしい言葉があふれる学校にしていきましょう。

## 書き初め　～一年の初めに新たな心で～

国語部　書き初め担当

年が明け、書き初めの時期となりました。書き初めは、文字を正しく整えて書く力を身に付けさせることをねらいとしています。具体的には、低学年では丁寧にとめ・はね・はらいなどをしっかり書くことを、中学年では筆使いを正しく字形を整えて書くことを、高学年では行の中心や文字の組み立て方に注意しながら書くことを指導しています。どの学年でも共通している事柄として、姿勢や筆の動き、筆圧に気を付けることが重要です。そして、丁寧に書くことの大切さを子供たち自身が感じ取り、今年一年も丁寧に文字を書こうという新たな気持ちになったり、正しく整った字を書こうと意欲がもてたりするような活動になることを願っています。

書き初めは、日本の伝統文化に触れるとても大切な機会でもあります。子供たちが、日本古来の文化を通して感性や情操を高めることや、作品を見合ってお互いの良さを認め合ったりアドバイスし合ったりすることも、めあてにして取り組んでいます。

本校では、９日（火）から１２日（金）に各学年・各学級で書き初めを行い、１月１６日（火）から３０日（火）まで校内書き初め展として、廊下に展示を行います。今年度は、期間中の２７日（土）に学校公開日を設けています。ぜひ子供たちの頑張りを見に来ていただければと思います。

また、武蔵野市の小・中学校書き初め展が１月２７日（土）から２９日（月）まで、武蔵野市民文化会館で行われ、各学年の代表作品が展示されます。詳細は別途、お知らせいたします。